

## ニッペジンキー8000ファインHB

## 概 要

弱溶剤可溶形の有機質系（エポキシ樹脂系）厚膜タイプ（標準乾燥膜厚75 $\mu$ m／回）ジンクリッチペイントです。弱溶剤タイプにすることにより臭気が少なく、従来品では得られなかった作業性と取り扱いやすさを実現しました。JIS K 5553 2種 に合格しており、弱溶剤エポキシ樹脂塗料などの重防食塗料との組み合わせにより、オール弱溶剤重防食塗装が可能となります。

## 特 長

- ① 塗料用シンナーAで希釈できるため、塗装作業性にすぐれ、臭気が少なく環境にやさしい塗料です。
- ② JIS K 5553 2種 に合格しており、防食性にすぐれています。
- ③ 厚塗りができます。（膜厚（ドライ）75 $\mu$ m／回）
- ④ 付着性・耐水性・耐衝撃性などにすぐれています。

## 塗料性状

色 相	ライトグレー		
密度(g/cm <sup>3</sup> )(23℃)	2.19(混合塗料)	2.7(塗料液)	0.81(硬化剤)
加熱残分(%)	79(混合塗料)	87(塗料液)	9(硬化剤)
引 火 点	塗料液：46℃ 硬化剤：41℃		
危険物表示	塗料液：指定可燃物 可燃性固体 硬化剤：第2石油類 合成樹脂クリアー塗料		
有機溶剤区分	第3種有機溶剤等		

塗装仕様例<sup>1)</sup>

工 程		一般塗料名	製品名	使用量 (Kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り 回数	塗装※ <sup>1</sup> 方法	シンナー名 (希釈率)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)
現 場	素地調整	1種※ <sup>3</sup>						4時間以内
	下 塗 り 第 1 層	弱溶剤厚膜形 有機ジンクリッチペイント	ニッペジンキー8000ファインHB	0.60	1	エアレス スプレー	塗料用シンナーA (0～5%)	1日～10日※ <sup>2</sup>
	下 塗 り 第 2 層	弱溶剤形 変性エポキシ樹脂下塗り塗料	ハイボン20ファイン	0.24	1	エアレス スプレー	塗料用シンナーA (0～5%)	1日～10日
	下 塗 り 第 3 層	弱溶剤形 変性エポキシ樹脂下塗り塗料	ハイボン20ファイン	0.24	1	エアレス スプレー	塗料用シンナーA (0～5%)	1日～10日
	中 塗 り 2)	弱溶剤形 ふっ素樹脂塗料用中塗り塗料	デュフロン100ファイン中塗	0.17	1	エアレス スプレー	塗料用シンナーA (0～10%)	1日～10日
	上 塗 り	弱溶剤形 ふっ素樹脂上塗り塗料	デュフロン100ニューファイン	0.14	1	エアレス スプレー	塗料用シンナーA (0～10%)	—

※1 原則スプレー塗装とするが、発注者と協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。

※2 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

※3 プラスト処理による除せいはISO Sa2 1/2とする。

注1) 上記塗装仕様例は「鋼道路橋防食便覧 Rc-I 塗装系」によります。各道路会社・公団の塗装仕様によって仕様内容は異なります。

上記の各数値はすべて標準的なものです。施工方法・施工条件・被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率及び測定機器・測定方法により増減します。

上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

注2) 中塗りにはデュフロン100ファイン中塗り(弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り塗料)もご使用できます。詳細は製品使用説明書などをご参照ください。

## 用 途

橋梁、水門、タンク、化学プラントなど各種鉄構造物の重防食塗装

## 容 量

25kgセット（塗料液：硬化剤＝22.5kg：2.5kg）

## 使用方法

- 素地調整 : プラスト処理によりISO Sa2 1/2まで除錆してください。  
調 合 : 2液形のため「塗料液/硬化剤=90/10(重量比)」の混合比により混合し、十分かくはんしてください。  
ポットライフ : 8時間(23℃)  
シンナー : 塗料用シンナーAまたは塗料用シンナーSA

塗 装 方 法	エアレススプレー塗り		はけ、ローラー塗り	
希 釈 率	0~5%		0~5%	
使 用 量	0.60kg/㎡/回	0.24kg/㎡/回	0.30kg/㎡/回	0.30kg/㎡/回×2
膜 厚 ( ド ラ イ )	75μm	30μm	37.5μm	75μm
目標膜厚(ウェット)	175μm	70μm	90μm	175μm

エアレス条件 : 一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12~15MPa  
チップ№163-617、619など(グラコSTチップの例)

- \* 使用量・膜厚は標準の数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により幅を生じ増減します。  
\* 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾燥時間		5℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥		4時間	2時間	1時間
半 硬 化 乾 燥		8時間	4時間	2時間
塗 り 重 ね 乾 燥		48時間以上 10日以内	24時間以上 10日以内	24時間以上 10日以内

- \*乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。  
\*上記の塗り重ね乾燥時間は代表値を記載しております。施工前に施主基準書に定められた数値をご確認ください。

## 使用上のご注意

- 塗料液/硬化剤の保管中、容器に直射日光が当たりますと、容器内で内容物に変質する場合がありますので、保管は日の当たらない涼しい場所で行ってください。
- かくはんはディスパーで行ってください。
- 調合後や塗装中に沈殿や塊が見られた場合は、均一になるまでかくはんを行ってください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- 低温時のエアレススプレー塗装において、塗り重ねにより厚塗りになる部分は、スプレーパスの間隔を5分程度あけながら塗装してください。
- 油性、フタル酸樹脂塗料など、耐アルカリ性の劣る塗料は塗り重ねができません。
- 塩化ゴム系塗料への塗り重ねは基本的には避けてください。ただし、条件によっては塗装可能な場合がございますので、当社営業所までお問い合わせください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180  
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。  
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
●©Copyright2025 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.  
●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo

NP-D180

TY251201T  
2025年12月現在